

第三者評価結果

A-1 利用者の尊重と権利擁護

		第三者評価結果
A-1-(1) 自己決定の尊重		
【A1】	A-1-(1)-① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	b
<コメント> 余暇活動は利用者の希望を聞いて参加を決定しています。年1回宿泊旅行か日帰り旅行が選べる計画をしています。一泊旅行の温泉や日帰り旅行のテーマパーク・高尾山登山・温泉・水族館・動物園・東京散策・横浜散策・羽田空港散策などの候補地から、アンケートで希望を聞き、3人以上集まれば希望する場所の旅行を実行しています。利用者にとって楽しみの行事になっています。また日中活動で、利用者の声を取り入れたプチレク(メイクアップ・アートサークル)やドライブ外出、ソフエアロ、音楽療法プログラムを実施しています。エンパワーメントを取り入れた「ニーズ整理表」を用いて、利用者・家族・きららの希望やストレングス、具体的な支援の可能性を記載し、個別支援計画作成のためのアセスメントを実施しています。利用者同士が話し合う「利用者ミーティング」を実施していましたが、「あーとほうす」を分離した今年度からは実施していません。		
A-1-(2) 権利侵害の防止等		
【A2】	A-1-(2)-① 利用者の権利侵害の防止等に関する取組が徹底されている。	a
<コメント> 月1回の職員全体会議で法人が作成した倫理行動綱領と倫理行動マニュアルの読み合わせを行って、職員の基本的行動について共有しています。毎月「セルフチェックリスト」を全職員が実施し、12の質問内容をチェックし、利用者への対応について自己の振り返りを行っています。またリーダー会議では、利用者支援で気になったことがあった場合は、職員間で話し合って共有しています。事業所での虐待事例はありませんが、家庭での虐待が疑われるような場合は、相談支援事業所や市役所障害相談課と連携して対応しています。職員から他の職員が行き過ぎた支援になっているとの意見があった場合は法人の事故委員会で検証しています。全国的なニュースになるような虐待などの案件は、所長から回覧をして職員間で共有しています。		

A-2 生活支援

		第三者評価結果
A-2-(1) 支援の基本		
【A3】	A-2-(1)-① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。	a
<コメント> 作業はクッキー作りをする製菓グループとコーヒーの袋詰め、缶バッジ・キャラクター製作などを行う軽作業グループがあります。ほとんどの作業は利用者が主体的に行っていますが、複雑な作業や検品などは職員が行っています。例えばコーヒーの袋詰めでは、袋を折り曲げて貼るところは職員がしています。出来るだけ利用者の出来るところは主体的にできるよう、職員は見守りと必要最低限の支援を行っています。利用者の役割として、製菓グループで使用するタオル、事務所で使用する分も含めて回収して、洗濯し、干しています。作業室の掃除機かけや片付けは利用者が行っています。受給者証の更新手続きや障害支援区分認定調査時には職員が同席するなどの支援を行っています。		

【A4】	A-2-(1)-② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。	b
<p><コメント></p> <p>利用者には知的障害で自閉傾向が多いため、コミュニケーションの方法は状態に応じて工夫しています。文字盤を用いて、自分の意思を伝える利用者もいます。絵カードや写真を見せて、お茶・作業・昼食・ソフトエアロなどのレクリエーションなどを利用者に伝えることもあります。一日のスケジュール表は利用者の状態に合わせ、個別にわかりやすく作成しています。ジェスチャーなどいろいろな非言語コミュニケーション手段を用いてコミュニケーションを図っていますが、十分に機能していない面もあります。他の人とコミュニケーションが取れず、周りの動きが気になる利用者には、刺激を少なくするためにパーテーションで作業場を仕切っています。</p>		
【A5】	A-2-(1)-③ 利用者の意思を尊重する支援としての相談等適切に行っている。	a
<p><コメント></p> <p>毎月(1月と8月は除く)オンブズマンネット相模原からオンブズマンが2名来所し、利用者の話を聞き、記録しています。前もって相談を希望する利用者を募っておき、毎回3名位の利用者が話を聞いてもらっています。今年度からは、「あーとはうす」と分離し別事業所になったため、オンブズマンパーソンの来所は年5回になりました。相談を希望する利用者がいた場合は、所長か担当職員が医務室で個別に話を聞いています。相談の内容を本人が共有してよいと言った場合は、支援会議で関係する職員へ伝え、検討・共有しています。家族からの相談がメールや電話であった場合は担当職員が対応し、所長に内容を報告しています。相談内容は個別支援計画に反映し、相談支援事業所とも共有しています。</p>		
【A6】	A-2-(1)-④ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。	a
<p><コメント></p> <p>日中活動には製菓のクッキー作り、袋詰め、袋に絵をかいて値札貼りをするなど一連の作業があります。軽作業では、紙漉きで缶バッジに貼る紙やポチ袋製作、受注作業のコーヒーやねじの袋詰め作業などがあります。余暇活動は利用者の希望でメイクアップ・アートサークル、ソフトエアロなどのレクリエーションがあります。個別支援計画には「本人・家族の希望」「具体的な到達目標」と「支援内容」欄に作業やレクリエーション内容、役割などが具体的に記入されています。個別支援計画に基づいて本人の希望に合わせた支援を行っています。</p>		
【A7】	A-2-(1)-⑤ 利用者の障害の状況に応じた適切な支援を行っている。	b
<p><コメント></p> <p>法人の相模原エリアで法人の5事業所が参加して年6回自閉症研修を実施しています。各事業所から担当職員1~2名を派遣し、研修の打ち合わせや企画を行っています。研修には外部講師を呼び、5事業所で持ち回りで事例報告をし、アドバイスをもらって支援の参考にしています。また相模原市発達障害支援センターの機関コンサルテーションから施設に出向いてもらい、対応困難者への支援方法についてアドバイスをもらっていますが、うまく実施できないことが多く、課題も多くあります。行動障害の予防のため、環境の制御や絵カード、ジェスチャーなどの手段で見通しを立てています。他の人のことが気になり不安になる利用者には、作業場所をパーテーションで仕切り、刺激を統制しています。相性が悪い利用者同士の接点には気配りを行っています。</p>		

A-2-(2) 日常的な生活支援		
【A8】	A-2-(2)-① 個別支援計画にもとづく日常的な生活支援を行っている。	b
<p><コメント></p> <p>食事は業者に委託し、事業所で調理をしています。調理済みの食事を近隣の他事業所にも配達しています。食事に関する満足度調査を各グループで実施し、給食担当者に要望を伝えています。3ヶ月毎に法人6事業所合同で給食会議を開催し、給食内容についての話し合いを行っています。食事形態は普通食の他に、きざみ・トロミ食の対応をしています。アレルギー食・カロリー制限食なども個別支援計画に基づき、個別に対応しています。</p> <p>入浴は実施していませんが、排泄に失敗した時などはシャワーや清拭などの対応をしています。排泄は声掛けをしてトイレ誘導したり、見守り介助が必要な利用者には同性介助を実施しています。車いす介助の利用者は2名、歩行器使用の利用者は1名います。利用者の支援内容は個別支援計画に基づき実施しています。</p>		
A-2-(3) 生活環境		
【A9】	A-2-(3)-① 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。	b
<p><コメント></p> <p>作業室の清掃は15時から利用者と職員で行っています。消毒はアルコールの入った消毒液で作業室や食堂のテーブル、椅子、手すり、ドアノブ、トイレなどを朝と利用者が帰った後に職員が実施しています。清潔維持に心がけ、コロナウイルス対策に取り組んでいます。日中の清掃は掃除専門の派遣職員がトイレも含め施設全体を行っています。換気は朝利用者が来る前30分と帰った後に実施しています。体調不良の時は医務室にベッドが備わっていますので、寝ることが出来ます。各フロアに2人掛けのソファや座椅子が設置され、自由に休憩できる所になっています。大声を出したり、強度行動障害などで不安定な状態になった場合は一人部屋で作業をすることがあります。クールダウンには医務室を利用しています。</p>		
A-2-(4) 機能訓練・生活訓練		
【A10】	A-2-(4)-① 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。	b
<p><コメント></p> <p>毎月1回市の体育館でボランティアの指導者による専門職からソフトエアロの運動プログラムを実施しています。2ヶ月に1回、市の体育館のマシンを使用して少人数で機能訓練を実施しています。その他に「散歩プログラム」で建物の周りを散歩したり、「晴れ晴れ」では、グループ毎にドライブで相模原公園まで行き、公園を散歩するなど健康維持を目的とした体を動かすプログラムが充実しています。車いすの利用者で定期的に専門病院でリハビリを受けている人がいます。職員が付き添って行き、専門職から生活活動の中での機能訓練方法のアドバイスをもらい、実践しています。</p>		
A-2-(5) 健康管理・医療的な支援		
【A11】	A-2-(5)-① 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。	b
<p><コメント></p> <p>看護師が毎日3時間くらい出勤し、利用者を巡回し、健康観察を行っています。利用者や職員からの相談を受け、健康に関するアドバイスをしています。毎月体重測定を実施し、記録しています。年2回健康診断を実施し、6月には検診車が来て、身長、体重、血圧、、血液検査、胸部レントゲン、内診などを実施しています。今年新型コロナウイルスのため、6月に健康診断が出来なかったため、11月に実施の予定です。2月には看護師が身長、体重、血圧測定を行っています。健康診断の結果を基に食事量の調整をしたり、散歩やプールのプログラムなどを個別支援計画に取り入れ健康管理を行っています。家族にも結果を知らせ、所見があった場合は精密検査を実施してもらっています。利用者の体調が変化した場合は、嘱託医に連絡がとれる体制になっており、必要な時は往診も依頼できます。</p>		

【A12】	A-2-(5)-② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。	b
<p><コメント></p> <p>医療的ケアは実施していませんが、服薬管理は10人位行っています。昼食後に服用する薬は、予め1週間分位預かって、事務所のカギのかかる所に保管しています。毎日各グループの担当者が持っていき、3人で服薬チェックをしています。準備する人、本人へ手渡し確認する人、残包をチェックする人で確認し合っ、誤薬の無いように注意しています。薬チェック表には薬の内容を確認した職員の名前を記録しています。服薬マニュアルは作成していません。肥満のための食事調整を行ったり、腎疾患のための定期的な水分チェックを行っている利用者もいます。</p>		
A-2-(6) 社会参加、学習支援		
【A13】	A-2-(6)-① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。	a
<p><コメント></p> <p>毎年他事業所の利用者交流会に参加しています。県社協主催のあおぞらパーティーではグループ毎にケースを決めて検討や話し合いを行っています。相模原市障害者地域作業所等連絡協議会が主催するハッピーフライデーに10事業所の利用者や職員が参加し、歌を唄ったり、ダンスの披露、手品、クイズなどの催しものを楽しみ、他事業所と交流しています。オンブズマン活動利用者交流会に、きららからは10名位の利用者が参加しています。昼ごはんの提供があり、前半はバンドやパフォーマンスを楽しみ、後半は利用同士で「最近楽しかったこと」などの話やおしゃべりをして、他の事業所の利用者同士の交流の場になっています。学習支援では、事業所からの情報提供で、コンピューター教室にガイドヘルパーを利用し、定期的に通っている利用者もいます。</p>		
A-2-(7) 地域生活への移行と地域生活の支援		
【A14】	A-2-(7)-① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	a
<p><コメント></p> <p>利用者が地域社会の一員として社会参加をするために、自立に向けての情報提供や働きかけを行っています。成年後見を利用している利用者が少ないため、成年後見制度の説明会を家族向けに実施し、家族の理解を深め、将来の自立に向けて促しを行っています。ショートステイを定期的に利用し、グループホームでの体験的利用をするなど、将来的に地域生活移行への準備の支援もしています。またガイドヘルパーの利用に向け、相談支援事業所やホームヘルプ事業所と連携し、事業所の紹介や利用調整を図っています。障害支援区分申請の手続き代行や調査時の同席の他に福祉サービスに関する相談・支援を行っています。</p>		
A-2-(8) 家族等との連携・交流と家族支援		
【A15】	A-2-(8)-① 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。	a
<p><コメント></p> <p>隔月に家族会を実施し、グループ毎に職員と家族の交流を行っています。5月に開催する家族会総会には所長が参加し、事業所全体の状況説明を行い、その後各グループに分かれ、職員や家族同士で情報交換を行っています。毎年「きらら祭」に家族会がバザーを実施し、交流の場になっています。日々の生活の様子や事業所での日中活動の様子を毎日連絡帳で、家族に伝えています。必要時電話でも家族と連絡を取っています。年2回発行する「きらら新聞」では、写真入りで「作業グループからのお知らせ」や利用者の様子、職員の紹介などを掲載し、家族に知らせています。</p>		

A-3 発達支援

		第三者評価結果
A-3-(1) 発達支援		
【A16】	A-3-(1)-① 子どもの障害の状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。	
<コメント> 評価外		

A-4 就労支援

		第三者評価結果
A-4-(1) 就労支援		
【A17】	A-4-(1)-① 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。	
<コメント> 評価外		
【A18】	A-4-(1)-② 利用者に応じて適切な仕事内容等となるように取組と配慮を行っている。	
<コメント> 評価外		
【A19】	A-4-(1)-③ 職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。	
<コメント> 評価外		